

# 小須戸小学校だより

NO. 9

令和3年3月22日(月) 発行



## 一年間、ありがとうございました

校長 中林 浩子

昼休みの校庭では、子どもたちが鬼ごっこやボール遊びに興じる姿が見られるようになりました。また、天気の良い放課後には、通称小グラで、笑い合いながら駆け回って遊ぶ子どもたちの歓声が聞こえてくる日が増えました。そんな子どもたちの様子からも、春の訪れを感じる今日この頃です。

昨年3月に緊急事態宣言が出され、全国一斉休校、これから、どうなるのか先の見えない中、お子さんを学校に送り出す保護者の皆さまの不安はとても大きかったものと推察いたします。一方、皆さまの大切なお子さんをお預かりする私たち教職員も、その時、その時、できる限りの予防策等を講じながらも、「絶対に大丈夫」とは言えない状況下での令和2年度のスタートでした。こういった誰にも先が見通せない、不安定な状況の中、学校からの様々なお願いや提案に対し、保護者・地域の皆さまからは、たくさんのご理解とご協力をいただきました。こうした多くの皆さまからの支えに、私たち教職員も励まされ、勇気づけられ、子どもと教職員とが、一緒に創る新しい学校生活、新たな教育活動の創造に取り組むことができました。保護者・地域の皆さまに、心より、感謝申し上げます。

さて、本日、全校児童と教職員と一緒に、無事、令和2年度の終業式を行いました。子どもたちには、次のような内容の話をしました。(概略だけ掲載します。)

子どもたちに、私から、3つの質問をしました。(ここで言う、「頑張ったこと」や「取り組んできたこと」とは、学習だけに限りません。)

- ① この一年間、あなたが頑張って、できるようになったことを一つだけ挙げてください。  
(きつと、いろいろあると思いますが、その中から「これだ!」というものの一つだけです。)
- ② 今は、まだ、できていないけれど、あなたが、頑張ってできるようになりたいと思っていることは何ですか?
- ③ それを実現するために、現在、あなたが意識して、具体的にしていることは何ですか?

①は、これからの皆さんを支える力になります。②は、4月以降のあなたの目標になります。そして、③は、その目標達成への道筋になります。これは、一つではなく、いろいろなやり方があります。今は、これしかない!と想着いても、進級・進学したところで、視野を広げ、目標達成のための自分なりのやり方をたくさん見つけて、取り組んでいけば、いつか必ず達成できるでしょう。この3つの中で一番大切なのは、②の4月以降の目標です。目標は、道しるべです。自分がどこに向かっているのかがわからなければ、人は頑張ることができないからです。是非、ひとりひとりが4月からの自分をイメージして、このことをしっかりと考えてください。そして、今日は、家に帰ったら、自分が考えた、この①～③までのことをお家の方に聞いてもらうよう話しました。

子どもにとっての大切な節目に、保護者の皆さまからは、少しの時間でもいいので、しっかりと、お子さんの話を聞いていただきたいと思います。そして、具体的な励ましをお願いします。

最後になりますが、保護者・地域の皆さまによる本校の教育活動へのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。一年間、大変ありがとうございました。

そして、4月からは、令和3年度が始まります。次年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

# 小須戸小学校 後期教育ビジョンへの取組の報告

文責 教務主任 村山香織

2月に実施した「保護者アンケート」「児童アンケート」の集計結果をお知らせするとともに、来年度の学校の取組についてお示しいたします。

ご多用の中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

小須戸小学校 教育目標

よく考え助け合う子ども

小須戸小学校で育てる三つの力 **伝える力** **認める力** **律する力**

A:あてはまる B:すこしあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない(%)

\* Aを肯定評価, AB合わせた数値を肯定的評価としています。

\* 上段の数値:後期の結果, 下段( )内の数値:前期の結果

## 学び合い 共に高まる子ども

| 児童アンケート |   | A              | B              | C              | D            |
|---------|---|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 1       | わたしは、授業が「楽しい」と感じる。                        | 47.1<br>(48.9) | 45<br>(44.2)   | 2.9<br>(4.3)   | 4.6<br>(2.6) |
| 2       | わたしは、授業が「分かる」と感じる。                        | 43.9<br>(41.8) | 46<br>(50.9)   | 8.4<br>(5.6)   | 1.7<br>(1.7) |
| 3       | わたしは、PCやタブレットを使うと、学習が「楽しい」と感じる。           | 77.6<br>(85.3) | 15.2<br>(11.2) | 4.6<br>(3.4)   | 2.5<br>(0)   |
| 4       | わたしは、PCやタブレットを使うと、学習内容が「よく分かる」と感じる。       | 54.9<br>(59.5) | 35<br>(33.2)   | 5.5<br>(6.9)   | 4.6<br>(0.4) |
| 5       | わたしは、授業で「伝え合うスキル」を使って、自分の考えを伝えている。        | 32.9<br>(31.9) | 40.1<br>(36.6) | 20.3<br>(24.1) | 6.8<br>(7.3) |
| 6       | わたしは、授業での学び合いを通して、自分の考えを広げることができた。        | 42.6<br>(42.7) | 40.1<br>(37.5) | 12.2<br>(17.7) | 5.1<br>(2.2) |
| 7       | わたしは、授業での学び合いを通して、自分の考えを深めることができた。        | 38.4<br>(38.8) | 46.4<br>(34.5) | 11.4<br>(20.3) | 3.8<br>(6.5) |
| 8       | 小須戸小学校の先生方は、子どもが「分かる」「楽しい」と感じる授業をしていると思う。 | 67.1<br>(64.2) | 25.3<br>(26.7) | 6.3<br>(5.6)   | 1.3<br>(3.4) |
| 9       | わたしは、自分で学び方を選んだときの方がやる気が出る。               | 47.7<br>(51.7) | 40.5<br>(35.3) | 8<br>(10.3)    | 3.8<br>(2.6) |

| 保護者アンケート |   | A          | B              | C            | D          | 分からない        |
|----------|---|------------|----------------|--------------|------------|--------------|
| 1        | 小須戸小学校の教職員は、子どもが「分かる」「楽しい」と感じる授業づくりや授業改善に取り組んでいる。 | 63<br>(37) | 29.7<br>(52.6) | 1.4<br>(4.5) | 3.8<br>(0) | 2.9<br>(5.8) |

○児童アンケート「わたしは、授業が楽しいと感じる」「わたしは、授業が分かると感じる」では、90%以上が肯定的な回答です。さらに、PC やタブレットを使うと「学習が楽しい」「よく分かる」と回答する児童も90%以上です。UDL理論に基づく授業改善やICT を活用した授業に一定の成果がみられます。

○保護者アンケート「小須戸小学校の教職員が、子どもが『分かる』『楽しい』と感じる授業づくりや授業改善にとりくんでいる。」と肯定的評価をしている割合が90%以上でした。さらに、肯定評価が、前期の37%から63%に向上しました。これに甘んじることなく、今後も教職員一同『分かる』『楽しい』授業づくりを目指して、工夫・改善に努めます。

▲肯定的評価に入らなかった約10%の子どもたちに対して、更なる多面的な理解に基づく支援・指導に努め、誰もが学べる教室の実現を目指します。

# かかわり合い 相手を思いやる子ども

| 児童アンケート |  | A              | B              | C              | D            |
|---------|--|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 1       | わたしは、進んであいさつをしている。                                       | 42.6<br>(44.4) | 35.0<br>(36.2) | 17.3<br>(15.1) | 5.1<br>(4.3) |
| 2       | わたしは、進んでハッピーワードを使っている。                                   | 43.0<br>(49.1) | 39.7<br>(37.9) | 13.9<br>(11.2) | 3.4<br>(1.7) |
| 3       | わたしは、周りの人に親切にしている。                                       | 47.3<br>(50.0) | 42.2<br>(40.5) | 9.7<br>(8.2)   | 0.8<br>(1.3) |
| 4       | わたしは、話し合い活動などを通して、学級をよりよくする取組を実行している。                    | 38.4<br>(45.7) | 38.4<br>(35.8) | 18.6<br>(13.8) | 4.6<br>(4.7) |
| 5       | わたしは、学校が楽しい。   | 57.0<br>(60.8) | 28.7<br>(25.9) | 9.3<br>(7.3)   | 5.1<br>(6.0) |
| 6       | わたしは、休み時間が楽しい。   | 83.1<br>(84.5) | 11.8<br>(11.2) | 2.5<br>(2.6)   | 2.5<br>(1.7) |
| 7       | わたしは、給食の時間が楽しい。  | 59.5<br>(56.9) | 27.8<br>(28.9) | 7.6<br>(11.2)  | 5.1<br>(3.0) |
| 8       | わたしは、友達と過ごすことが楽しい。                                       | 82.7<br>(82.8) | 12.2<br>(12.1) | 3.0<br>(4.3)   | 2.1<br>(0.9) |
| 9       | わたしは、自分の学級が好きである。  | 61.2<br>(64.2) | 30.0<br>(28.9) | 5.5<br>(5.6)   | 3.4<br>(1.3) |
| 10      | わたしは、自分と考えや意見が違う人とでも、協力して活動している。                         | 46.8<br>(49.6) | 40.5<br>(40.5) | 8.9<br>(6.5)   | 3.8<br>(3.4) |
| 11      | わたしは、誰でも安心できるクラスをつくるために、人をからかったりバカにしたりしないように気を付けて生活している。 | 61.2<br>(69.0) | 29.5<br>(25.4) | 8.4<br>(5.2)   | 0.8<br>(0.4) |
| 12      | わたしは、学校で自分のことだけでなくみんなのことを考えて行動している。                      | 42.6<br>(47.0) | 46.4<br>(43.1) | 7.2<br>(6.9)   | 3.8<br>(3.0) |
| 13      | わたしは、みんなの役に立つ人になりたいと思っている。(4年生以上)                        | 60.7<br>(65.7) | 27.7<br>(24.8) | 6.9<br>(7.3)   | 4.6<br>(2.2) |

| 保護者アンケート |   | A              | B              | C             | D            | 分らない         |
|----------|---|----------------|----------------|---------------|--------------|--------------|
| 1        | 子どもは、家族に進んであいさつをしている。                   | 42.8<br>(39.6) | 47.1<br>(38.3) | 8.0<br>(18.8) | 2.2<br>(2.6) | 0.0<br>(0.0) |
| 2        | 家庭では、子どもに人から呼ばれたら返事をするように働き掛けている。       | 71.0<br>(57.1) | 27.5<br>(37.7) | 0.7<br>(4.5)  | 0.7<br>(0.6) | 0.0<br>(0.0) |
| 3        | 家庭では、子どもの話をよく聞いている。                     | 42.0<br>(24.0) | 52.2<br>(66.9) | 5.1<br>(8.4)  | 0.0<br>(0.0) | 0.7<br>(0.6) |
| 4        | 小須戸小学校は、一人一人の子どもを大切に、安心して過ごせる温かな雰囲気がある。 | 61.6<br>(37.7) | 31.2<br>(51.9) | 4.3<br>(4.5)  | 0.7<br>(0.0) | 2.2<br>(5.8) |

○児童アンケートでは、「友達と過ごすことが楽しい」「自分の学級が楽しい」において、いずれも肯定的評価が90%以上でした。

○保護者アンケートでは、「学校は子ども一人一人の子どもを大切に、安心して過ごせる温かな雰囲気がある。」の肯定評価が61.1%、肯定的評価が92.8%でした。今後も教職員全員で全校児童を見守り、いじめや問題行動が生じた際には、担任だけでなく管理職、養護教諭、特別支援コーディネーター等でチームを組んで支援会議を行いながら、迅速かつ丁寧な対応を組織的に行っていきます。

▲児童アンケートでは、「自分と考えや意見の違う人とでも、協力して活動している」と肯定的回答をした児童が87.3%、「誰でも安心できるクラスをつくるために、人をからかったりバカにしたりしないように気を付けて生活している」と肯定的回答をした児童が90.7%、「学校だけで自分のことだけでなくみんなのことを考えて行動している」と肯定的回答をした児童が89%でした。しかし、実際は人を尊重しない言動や行動が日常的に起こっているという現状があります。全ての児童は「いじめは悪いことだ」と思っていますが、いやがらせやいじめをしているという実態があります。小須戸小学校のすべての児童が人を思いやった行動をとることができるように、学校として具体的に教える体制を構築し、すべての児童が安心して過ごせる学校・学級づくりに向けて、取り組んでいきます。



# 自分と向き合い 自分を鍛える子ども

| 児童アンケート |   | A              | B              | C              | D              |
|---------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1       | わたしは、めあてをもち、めあて達成のために努力している。  | 54<br>(50.4)   | 35.4<br>(29.7) | 8<br>(17.2)    | 2.5<br>(2.6)   |
| 2       | わたしは、体力アップのために自分でやると決めたことをがんばっている。  | 55.7<br>(59.5) | 30.8<br>(26.3) | 9.7<br>(11.2)  | 3.8<br>(3)     |
| 3       | わたしは、給食の時、衛生に気を付けて配膳したり、食べたりしている。   | 62<br>(51.3)   | 27.8<br>(35.8) | 9.3<br>(10.8)  | 0.8<br>(2.2)   |
| 4       | わたしは、テレビを見すぎたり、ゲームやインターネットをやすぎたりしていない。<br>(めやす テレビ・ゲーム等:1時間未満-A, 1～2時間-B, 2～3時間-C, 3時間以上-D) | 27.4<br>(36.2) | 41.4<br>(36.6) | 15.6<br>(15.1) | 15.6<br>(12.1) |
| 5       | わたしは、普段の授業では、自分から進んで学習に取り組んでいる。   | 38.4<br>(40.1) | 44.7<br>(34.9) | 11.4<br>(20.7) | 5.5<br>(4.3)   |
| 7       | わたしは、学校生活をより良くするために、自分で考えて進んで行動している。  | 40.1<br>(37.5) | 35.9<br>(49.1) | 16<br>(10.3)   | 8<br>(3)       |
| 8       | わたしは、家で進んで手伝いをしている。   | 54<br>(37.9)   | 27.8<br>(37.1) | 13.1<br>(19.4) | 5.1<br>(5.6)   |
| 9       | わたしは、苦しいことにもがんばって取り組んでいる。   | 69.2<br>(56)   | 18<br>(27.6)   | 9.3<br>(12.5)  | 3.5<br>(3.9)   |
| 10      | わたしには、将来の夢がある。(4年生以上)   | 65.4<br>(68.9) | 26.6<br>(18.9) | 4.6<br>(6.1)   | 3.4<br>(6.1)   |

| 保護者アンケート |   | A              | B              | C              | D              | 分からない        |
|----------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 1        | 子どもは、テレビを見すぎたり、ゲームやインターネットをやすぎたりしていない。<br>(めやす テレビ・ゲーム等:1時間未満-A, 1～2時間-B, 2～3時間-C, 3時間以上-D) | 8.7<br>(7.8)   | 37.7<br>(36.4) | 34.1<br>(37)   | 18.8<br>(18.2) | 0.7<br>(0.6) |
| 2        | 家庭では、子どもがテレビを見すぎたり、ゲームやインターネットをやり過ぎたりしないように働きかけている。   | 39.9<br>(40.3) | 53.6<br>(42.2) | 5.1<br>(16.2)  | 1.4<br>(1.3)   | 0<br>(0)     |
| 3        | 子どもは、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。   | 23.9<br>(17.5) | 47.4<br>(40.3) | 22.5<br>(36.4) | 7.2<br>(5.8)   | 0<br>(-0.6)  |
| 4        | 家庭において、子どもは生活習慣をより良くするために、自分で考えて進んで行動している。  | 14.5<br>(7.8)  | 55.1<br>(47.4) | 26.8<br>(36.4) | 2.9<br>(5.8)   | 0.7<br>(2.6) |
| 5        | 家庭では、子どもに家事を手伝わせるなど、家族の一員としての役割を与えている。  | 36.2<br>(29.9) | 47.8<br>(44.2) | 13.8<br>(22.1) | 2.2<br>(3.9)   | 0<br>(0.0)   |
| 6        | 家庭では、子どもに自分でできることは自分でさせている。   | 54.3<br>(42.9) | 39.1<br>(48.1) | 6.5<br>(8.4)   | 0<br>(0.6)     | 0<br>(0)     |
| 7        | 家庭では、子どもの良いところをほめるなどして、子どもの良さや強みを具体的に伝えている。   | 61.6<br>(20.8) | 33.3<br>(63.6) | 2.2<br>(14.9)  | 0.7<br>(0)     | 2.2<br>(0.6) |

○児童アンケート「わたしは、めあてをもち、めあて達成のために努力している」に対する肯定的評価は89.4％（前期比＋9.3P）でした。この質問項目は体力面だけに特化して聞いているわけではありません。児童は普段の学習や家庭学習においても、自分のめあてを立てて、めあてに向かって粘り強く努力する姿が見られるようになってきたことを示しています。

○保護者アンケート「家庭では、子どもの良いところをほめるなどして、子どもの良さや強みを具体的に伝えている」に対する肯定的評価は、94.9％（前期比＋10.5％）でした。特に、肯定評価が前期20.8％から後期61.6％と向上しています。保護者の皆様から、学校の取組や教育方針をご理解いただき、ご家庭と学校とが一緒になって子どもの成長のために力を合わせている手ごたえを感じます。

▲「テレビ、インターネット、ゲームの時間が2時間以上」の割合が、児童回答で31.2％です。一人一台タブレットが配付され、学校では毎日自分のタブレット

で授業を進めています。タブレットを使っていると授業が楽しく、あっという間に時間が過ぎていくように児童は感じているようです。今後は、タブレットを家庭に持ち帰って、家でも使うことになります。タブレットも含め、子ども自身が自分で考え、よりよい方法を選択できる力を育くむことが大切になってきます。



## 地域と一体となった学校づくり

| 保護者アンケート |   | A              | B              | C            | D            | 分からない        |
|----------|---|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 1        | 各種たより, 学校ホームページ, 配信メールなどは, 学校からの情報を得るために役に立っている。  | 60.1<br>(55.8) | 33.3<br>(36.4) | 2.2<br>(4.5) | 3.6<br>(0.6) | 0.7<br>(4.5) |
| 3        | 一日オープンスクールの回数について(A1か月に1回 B2か月に1回 C3か月に1回 D学期に1回) | 2.9            | 23.2           | 37.7         | 34.8         | 1.4          |
| 4        | 小須戸小学校は, 保護者からの相談に誠意をもって, 組織で対応している。              | 60.9           | 31.9           | 0            | 1.4          | 5.8          |
| 5        | 小須戸小学校は, 保護者や地域と共に, 子どもを育てるパートナーとして信頼できる。         | 58.7           | 34.8           | 2.9          | 0.7          | 2.9          |

○「各種たより, 学校ホームページ, 配信メールなどは, 学校からの情報を得るために役に立っている。」では, 肯定的評価が93.4%でした。

○一日オープンスクールの回数については, 3か月～学期に1回を希望する保護者が全体の72.5%でした。

○「小須戸小学校は, 保護者からの相談に誠意をもって, 組織で対応している。」では, 肯定的評価が92.8%でした。

○「小須戸小学校は, 保護者や地域と共に, 子どもを育てるパートナーとして信頼できる。」では, 肯定的評価が93.5%でした。



緑花ボランティアさんとの給食会



保育園児の学校訪問



民生委員・児童委員懇談会



学校評議員会

**アンケートへのご協力ありがとうございました。**

アンケートの自由記述欄に, 多くの方から記述いただきありがとうございました。学校の取組に対しての理解や励ましのお言葉をたくさんいただきました。これを励みにするとともに, いただきましたご意見には, 学校として更なる改善に向けて, 真摯に取り組んでまいります。

具体的な改善策については, 次のページをご覧ください

# 「自らの学びを『<sup>かじとり</sup>舵取り』する子ども」に育てるための来年度の取組



子どもたちの創意による運動会「全校パフォーマンス」

- 教師が「Teaching」から「Learning」への授業観のマインドセットの転換を図り、児童が自ら学びを舵取りする体制を強化していきます。
- 様々な方法を使って、学級集団での協同的な学びを大切に授業改善を行います。
- 「授業が楽しい」「授業が分かる」という児童が大多数ではありますが、その中でも取り残されてしまう児童について、多面的な理解に基づいたきめ細やかな支援・指導を行いながら、誰もが学べる教室の実現を目指します。



学びやすい方法の選択

- 運動会やムービーフェス等、児童が「自ら創り出す」「生み出す」ことの楽しさや達成感を味わえる学校行事を児童と共に創っていきます。
- 授業と生徒指導の一体化を図り、児童の特性や多様性に応じた必要な支援を今後も提供していきます。
- 児童が人を思いやった行動をとることができるように、学校として望ましい行動を具体的に教える体制を構築し、すべての児童が安心して過ごせる学校・学級づくりに取り組んでいきます。



- 児童は普段の学習や家庭学習においても、自分のめあてを立てて、めあてに向かって粘り強く努力する姿が見られています。自分で学びを舵取りする子どもを目指し、学習だけでなく、メディアとの付き合い方や生活リズム、食育の面からも指導・支援をしていきます。
- 保護者の皆様から子どもの良さや強みを具体的にほめていただき、子どもたちの自己肯定感が高まっています。学校では望ましい行動を具体的に教え、子どもたちが自信をもって自立した行動がとれるように支援します。



縦割り班での「なかよし読書」

- 一日オープンスクールは、子どもたちの普段の様子を参観できると好評をいただいています。来年度のオープンスクールの回数は、いただきました保護者アンケートの回答を参考にし、今年度よりも回数を増やし3か月～学期に1回程度と考えています。また、オープンスクールと従来型の学習参観日を設定できるよう工夫します。
- 令和4年度、学校は150周年を迎えます。地域と一体になった学校づくりをさらに進めるため、コミュニティ・スクール導入に向けた新たな体制づくりを行います。
- コロナ感染予防対策を十分にとりながら、児童が、地域で学ぶ・地域を学ぶ体制を構築していきます。

- 書くこと、話すこと、タブレットを使うことを始め、思考を深めたり、表現したりする際のツールは多様です。児童自身が自分の学びを促進するために、よりよい方法を選択できる力を育む支援・指導体制を構築していきます。
- 保護者と連携を密にして、個別の指導計画を有機的に活用し、児童の特別な教育ニーズに沿った指導を実践していきます。
- 多様性について、教職員・児童が共通の認識のもと、保護者や地域へも啓発を進めます。
- 今後も、学校、保護者、外部専門機関と連携しながら、個々の児童の多面的な理解に努め、ニーズに対応した支援を提供していきます。何か心配なことがありましたら、いつでも学校にご相談ください。